

# 西荒屋小学校だより

9月学校評価号

校訓 「至誠」

教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

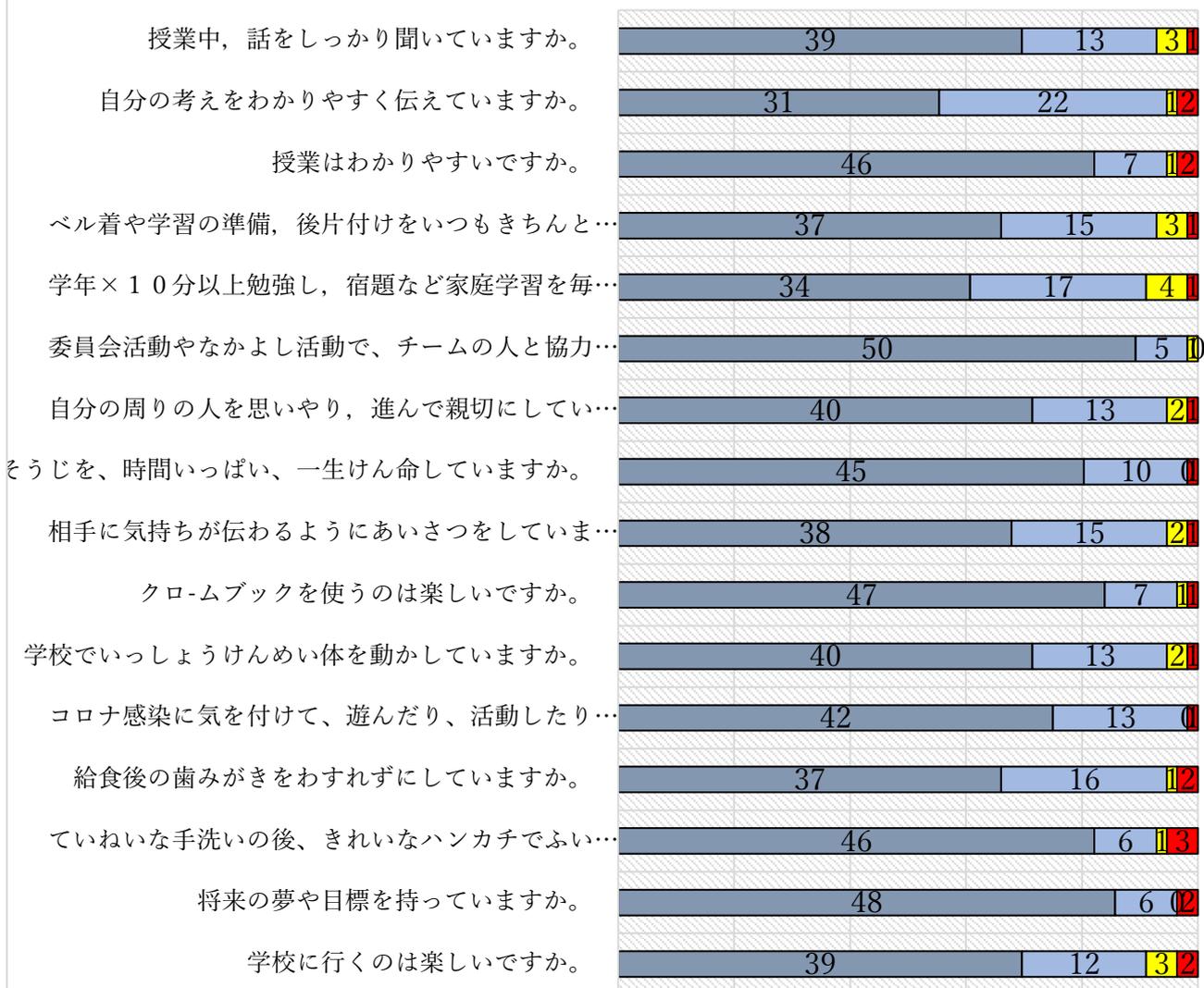
令和3年9月28日 西荒屋小学校

## 前期学校評価アンケート結果について

保護者の皆さまには、ご多用の中、1学期末にアンケートにご協力をいただきありがとうございます。ご回答に加え、本校の教育活動の充実のために建設的なご意見等もいただき重ねてお礼申し上げます。つきましては、前期の児童アンケート・保護者アンケート結果を以下のとおりご報告いたします。

### 2021 児童アンケート前期結果

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ している

■ だいたい

■ あまり

■ していない

## ◎肯定的評価の割合が高い項目（A評価が80%以上になっている項目）

- ・授業はわかりやすい
- ・委員会活動やなかよし活動で、チームの人と協力してがんばっている
- ・そうじを時間いっぱい一生懸命している
- ・クロームブックを使うのは楽しい
- ・ていねいな手洗いの後、きれいなハンカチでふいている
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・自分たちの地域は好きだ



## ■肯定的評価が低い項目

- ・今年度前期結果では、A評価+B評価で90%未満になっている項目はありませんでした。

### 【学校より】

◎教育活動を進めていく上で今年度の重点目標は、「地域への愛着をもちたくましく生きる子の育成」です。本校では、昨年度より、地域の豊かな自然環境や地域で働く人や生活する人（ゲストティーチャー）を活かした体験学習を多く取り入れてきました。今年度は、体験前の出合わせ方、体験後のアウトプットも大切にし、より児童が主体的に学習に向かえるようにしています。

コロナ禍での児童の学習が充実したものになっているのは、地域の方々のおかげだと深く感謝しております。そんな地域の方の姿を見て、本校の児童はまっすぐにたくましく育っていると日々感じています。また、「将来の夢や目標を持っている」は、例年肯定的評価のなかなか高くない項目でした。しかし、A評価が、昨年度67%から今年度86%と大きく伸びました。ゲストティーチャーとの出会いの際には、必ず、その方の生き方に関わる話を聞かさせていただく時間を確保し、自分の生き方（自分の目標や将来の夢や職業）につなげられるよう指導してきました。今後も、そういう視点をしっかりと持たせ、ゲストティーチャーとの出会いを大切にしていきたいと思います。

◎クロームブックが、昨年度末に導入され、本校では積極的に授業で活用しています。1学期末には、低学年と高学年に分かれて、心や体に与える悪影響について外部講師から学ぶ機会を作りました。休み時間の使い方については、児童会が中心になって話し合い、児童が考えたルールにそって使っています。クロームブック活用や大型TVによって、映像や具体物（児童のノートや視覚資料等）が簡単に提示できたり、わからないことを手軽に調べたりでき、授業がより分かりやすくなっています。今後も、前向きな活用方法を児童とともに探っていきたいと考えています。

### ■肯定的評価が90%以下となった項目がありませんでした。

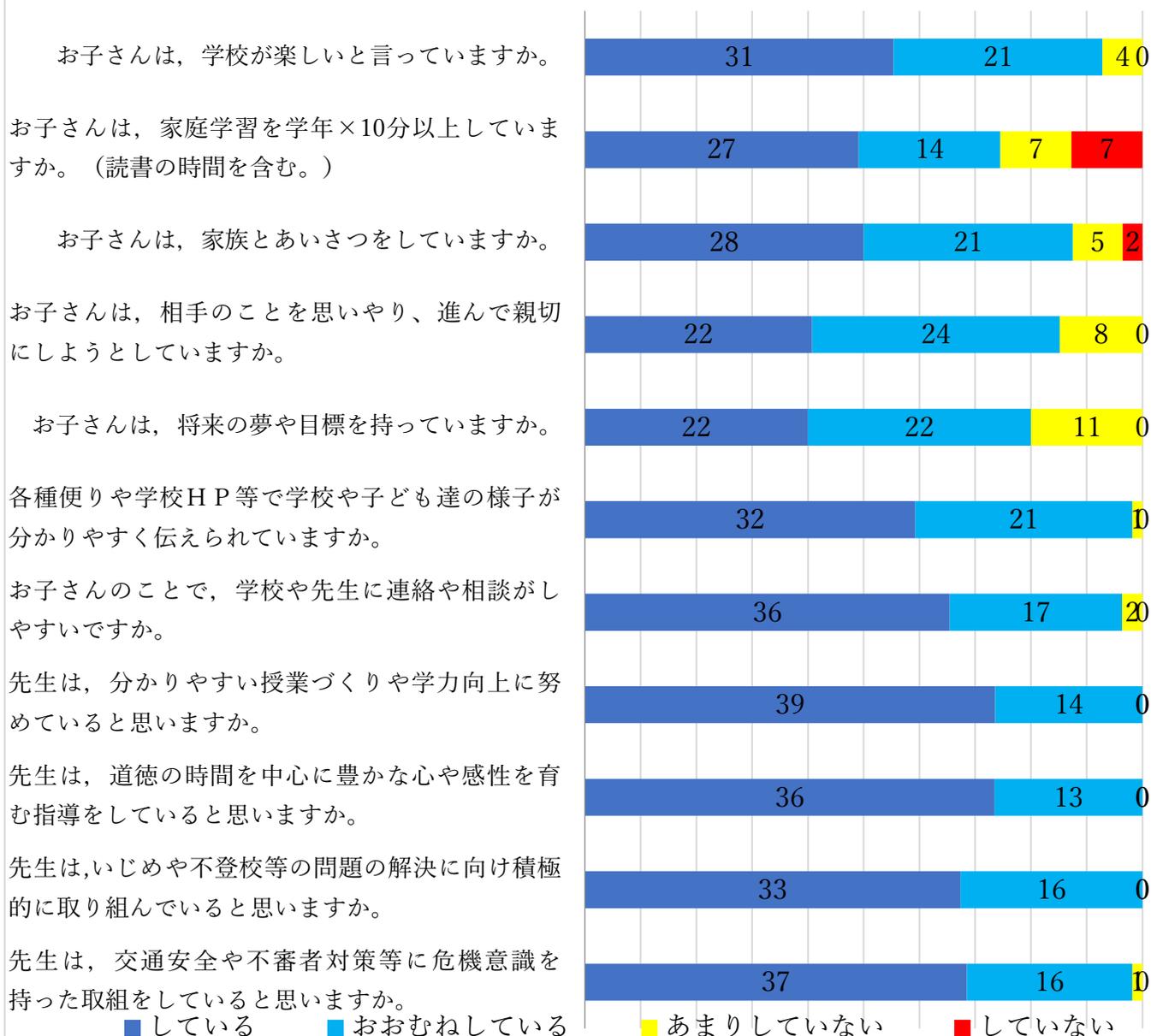
児童が、学校生活を前向きに捉えていることは、とても嬉しい成果です。今後も児童の行動を「褒める、認める、価値づける」を大切に、児童の自己肯定感を育てられるように努めていきます。

一番低かった項目は、家庭学習に関するものです。全児童が、「学年×10分以上の家庭学習」に取り組めるように、意欲を持たせる工夫や個別の指導に取り組んでいきます。



## 2021 保護者アンケート前期結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### ◎肯定的評価の割合が高い項目（A評価+B評価で95%以上になっている項目）

- ・各種便りや学校HP等で学校や子どもたちの様子が分かりやすく伝えられている
- ・お子さんのことで学校や先生に連絡や相談がしやすい
- ・先生は、分かりやすい授業作りや学力向上に努めていると思う
- ・先生は道徳の時間を中心に豊かな心や感性を育む指導をしている
- ・先生はいじめや不登校等の問題の解決に向け積極的に取り組んでいる
- ・先生は交通安全や不審者対応等に危機意識を持った取組をしている



### ■肯定的評価が低い項目（A評価+B評価で80%未満になっている項目）

- ・お子さんは、家庭学習を学年×10分以上している

## 【学校より】

■肯定的評価が低い項目は家庭学習に関する項目でした。これは、児童アンケート結果と同じです。学力向上のためには、まずは、学校の授業が、児童にとって「わかった」「できた」「楽しい」と思えるものでなければなりません。教職員は日々、そのための研修に励んでいます。また、それと同時に、授業以外の朝学習や補充学習（パワーアップタイム）や家庭学習での復習や繰り返しによって定着させる時間も学校としては大切にしています。全体的に、家庭学習は定着していますが、定着していない児童も一部見られます。学校では、学校の授業の中で、家庭学習を集中して取り組ませてみてどれくらい時間がかかるのか試してみたり、自学ノートを学年ごとに展示するコーナーを設け、児童や教職員がよいところをコメントで伝えたりして、児童に家庭学習の意欲を高めるように取り組んでいます。しかし、家庭学習には家族のご協力もかせませません。大変お忙しいと思いますが、我が子に「ナイス!」「がんばったね!」等のやる気ができる声かけをよろしくお願いします。



## ご意見（一部抜粋）

・夏休みのサマースクール、とても喜んでいました。子ども達のためにいろいろ考えてくださってありがとうございます。

・子ども達のために多くの探求活動や楽しい学習体験の機会を作ってください、とても感謝していますし、先生方からの愛情を感じます。ありがとうございます。日々、一人一人の個性を大切に接して下さる先生を信頼しております。高学年としても役割を任される機会が多く、子どもの自信や責任感が育ったように感じています。とても充実して学校生活が送れています。ありがとうございます。

→少人数であることは本校の大きな特徴であり良さです。コロナによる活動制限も多々ありますが、感染の状況を見ながら、「子どもたちが行きたい学校」になるよう少人数の本校だからこそできる活動を考え、実施しています。今年度初めて企画した、地域のゲストティーチャーを活用したサマースクールにも、たくさんの児童に参加希望をいただきました。実際に参加した児童や保護者の皆様からとても嬉しい感想もいただきました。コロナの状況が厳しくなり、できなくなってしまった企画もありましたが、今後も、コロナ感染対策に十分に配慮しながら、校外学習、出前授業、縦割りなかよし活動等、児童が実際の体験や児童が主体的に企画した活動の中でわくわくしながら学べる環境を作っていきたいと考えています。

・学校 HP に下校時間をのせない方がいいと思います。プリントで帰って来る時間がわかりありがたいです。

→どこにいても確認でき便利だと外部の意見から長年学校 HP にのせてきました。この意見を受け再度協議した結果、防犯上の理由から10月分からは学校 HP にはのせないことにいたします。今まで通り、見守り隊と保護者の皆様には文書（プリント）でご案内いたします。

・GIGA スクールが始まったので、マイクラを使用したプログラミング教室もお願いします。

→学校では、教員が計画的に GIGA スクールに関わる研修を進めています。児童の実態にに応じて、取り組み方を検討し、よいものは積極的に取り入れていきたいと考えています。

※個人に関わるご意見につきましては個別に対応させていただきます。今後も、お気づきのことがありましたら、遠慮なく担任もしくは学校までお話しくださいようお願いいたします。